



本 庄

ロータリークラブ会報

ロータリーは分かちあいの心

No.45-4 第2155回 例会 7月 26日 2007年 8月2日 発行
2007~08年度 国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド 第2570地区 ガバナー 石川喜彦
会長 岡崎正六 会長エレクト 金子 弘 副会長 武井包光 副会長 橋本恒男 幹事 矢島淳一

〔幹事報告〕 矢島淳一 幹事

《本日の例会》

卓 話

委員会報告



進 行 田中 克 SAAチーフ
点 鐘 午後 12 時 30 分 岡崎正六 会長
ソング 奉仕の理想 4つのテスト 斉唱
童 謡 たなばたさま 斉唱

〔会長挨拶〕 岡崎正六 会長



皆様こんにちは。幹事報告を申し上げます。
先日、7月19日6時30分深谷グリーンパレス
東鳳閣にてR I 第2570地区、会長 幹事会が開か
れました。各クラブの年度計画書を頂いて参りま
したが次回第一例会に回覧させていただきます。
特に、本日は他に報告事項はございませんが一
つだけお願いがあります。先週申し上げたとおり、
8月2日の第一例会には秩父RCの山根益男ガバ
ナー補佐がお見えになります。
本日出席の皆様はほとんど出席と思いますが、改
めて多くの皆様の出席をお願い申し上げます。あ
りがとうございました。

この後、夜間例会をお楽しみ下さい。

〔例会プログラム説明〕 澁澤健司 委員長



皆様今晚は。今年度お陰様で一ヶ月が過ぎよう
としています。皆様の御協力感謝いたします。お客
様に中村茜さん（交換学生）と、商工会議所青年
部会長小林秀行様をお迎えしております。後ほど、
卓話を御願ひ致します。

点鐘後新入会員、坂本優蔵さん、横尾 巧さん
の歓迎会をいたします。ぜひ、親睦を深めてく
ださい。委員会報告については、会報にてお知ら
せいたします。夏本番です。健康には充分気
をつけてお過ごし下さい。

本庄商工会議所青年部会長小林秀行さん及びメンバーの方々より会の紹介と現在募集しております本庄PRレディについてのご案内をして頂きます。

〔交換留学生帰国報告〕 巴カンセラー

〔本庄商工会議所青年部 本庄PRレディ一説明〕 青年部小林会長ほかメンバー



小林会長より本庄商工会議所青年部の会の紹介があり、続いてメンバーの方々から本庄PRレディ募集についての説明がなされる。

- 入賞人数・・・PRレディ5名
- 賞 金・・・各5万円
- 応募資格・・・本庄市近郊の万18歳以上の本庄が大好きな女性
- 応募締め切り・・・平成19年8月20日必着



中村茜さんがブラジルでの1年間の留学生生活をおり無事帰国致しました。

カンセラーとしての大任も果たすことができました。

本日は中村さんには帰国報告の後、現地で覚えたサンバも披露頂けるとのことです。

〔交換留学生帰国報告〕 中村 茜さん



初代 本庄PRレディ募集!

お母さんでも! 妻さんでも! 学生さんでも! OLさんでも!
18歳以上の本庄が大好きな女性!!お持ちしてませ!

入賞後の活動
各種イベントにて本庄の魅力をアピールする活動をしていただきます。(1年単位)

応募要項

<ul style="list-style-type: none"> ★入賞人数・・・PRレディ5名 ★賞 金・・・各5万円お祝い金 ★応募資格・・・本庄市近郊の万18歳以上の本庄が大好きな女性(※本庄市在住が望ましい) ★応募方法・・・①本庄商工会議所ホームページからエントリー②本庄市近郊の各18歳以上の本庄が大好きな女性(※本庄市在住が望ましい)からエントリー(※本庄市近郊とは、本庄市界隈を指し、本庄市界隈以外からの応募はご遠慮ください) ★応募締切・・・平成19年8月20日必着 	<ul style="list-style-type: none"> ★選考員について ★第1次選考日程 日 期：平成19年8月28日(土)・29日(日)18PM2:00より 場 所：本庄商工会議所大会ホール 選考方法：面接・自己PR・歌 ★最終選考日程 日 期：平成19年9月13日(土)18PM2:00より 場 所：本庄商工会議所大会ホール 選考方法：面接・自己PR・歌 ★選考者(審査員)・・・ 本庄商工会議所青年部 行徳支部 関係団体
---	--

http://www.honjo-yeg.com/

本庄商工会議所 (PRレディ選考員) ☎0495-22-5241 ☎0495-24-3993

告知ポスターです。宜しくお願いします。

1.簡単な自己紹介

こんばんは、本庄ロータリークラブの皆さんのスポンサーの下ブラジルに1年間留学しました。

本庄高等学校3年の中村茜です。

この度は皆さんのお陰で貴重な体験が出来ましたので早速紹介させて頂きたいと思います。

2.地域の紹介

まず私の住んでいたベロオリゾンチという都市はブラジルの南東部ミナスジェライス州の州都で有り人口230万人の大都市になります。標高約800mの高原に建設された都市なので至るところに急な坂道が有り自転車を使う人は滅多に見かけません。そして高地に位置しているため、いつも昼間は30度以上まで上がるのですが7、8月の冬の時期は夜になると15度以下まで下がってしまうのです。日本と違い湿気が少ないため夜15度以下まで下がってしまうと日本の冬のように寒いと感じました。そしてミナスジェライス州(特に北部)は鉄鉱石や宝石等を産出していることでも知られており日本にも多くの宝石が輸入されています。私が今日持ってきたこの石はAGATAと言いこれも北部で大量に取れるものでとても安いのですがこの通

り本当に綺麗な石です。半分に切り表面を磨くとこのようになるそうです。

またベロリゾンチは都会なのでスラム街（ポルトガル語ではファベラ）も多く存在しました。

3.体験したこと

私は3軒のホストファミリーにお世話になりました。1軒目は両親と子供2人姉妹（18歳と16歳）の家族構成で学校まで徒歩5分も掛からないことや私がポルトガル語を全く理解出来ずに居ても辞書を頻繁に引いて貰えたりと特にホストマザーが親身になって助けてくれました。

学校も1校目の私立高校に入り最初は友達が出来ない等、生徒たちはとても冷たいのだろう、厳しいものだと考えていたのですが初日から皆積極的に話しかけてくれ家族と同様言っていることが解らないと（始めは何もかも解らなかつたのですが）会話帳や辞書を貸してといわれその場ですぐ言いたいことをはっきり示してくれたので意外な気持ちと共に本当に嬉しかったです。

10月にはロータリーの旅行でブラジルの西部に位置するマツグロッソ・ド・スル州のパンタナルという大湿原に行ってきました。バスで片道2日掛けて行ったので10日間でも実際は6日間現地に居たこととなります。ブラジルの自然を見てまわり珍しい鳥や動物も見ることが出来ました、が私はそこで他の40人程の留学生とほとんど話が出来ませんでした。何故なら皆ポルトガル語を話せたとしても公用語は英語であり皆英語を当たり前のように話している中自分は小さくなってしまっていたからです。ですがその旅行のお陰でやはり英語は世界の共通語なのだと思感することが出来ました。

その後3ヶ月も経つ11月になると自分でも解るほど会話（簡単なもの）が出来ようになり、学校もとても楽しくなってきましたが12月の始めのうちに2月の始めまでの長い夏休みに入ってしまった。それと同時に第2ホストファミリーに移りました。第2ホストファミリーは両親と子供2人兄弟（19歳の兄と18歳の妹）そして下の妹はアメリカに留学中ということでした。ホストファザーは週に2日程家に帰る程度でホストブラザーも毎日仕事と大学のために家に居ない時間が多かったのでホストマザーと過ごす時間が多かったです。そしてそこで転校について少し迷いました。10月にブラジルのホストクラブのカウンセラーからベチンへの引越しを進められ（ベチンはベロリゾンチから1時間離れた田舎町）私はベチンロータリークラブの皆さんと頻繁に交流が出来ると思い今まで楽しく通っていた学校とその友達に別れを告げベチンへ移ることを決めました。ですがその夏休み中にカウンセラーからベチンへ移ることは出来ないと言われました。そして私はそれは絶対に出来ないと思いました。何故なら大好きだったその学校と友達に別れをキッパリ告げてまた戻るといこと

は私のプライドが許さなかつたからです。結局最後まで駄々をこねたわけですが。

そのような理由で私のカウンセラーは他の学校を探すために苦勞をしたようです。そして最終的にベロリゾンチの中心街に位置する公立高校に転校することが決まりました。その際に周りの皆から公立高校は危険な所が多く酷いと生徒が拳銃を持って授業を受けると注意を受けましたが、その高校はベロリゾンチ内で1番安全で有名な公立高校ということで安心して移ることが出来ました。本庄ロータリークラブの皆さんにも私のレポートを読んで心配して頂いたようで本当にすみませんでした。

その公立高校はすでに6、7人のロータリーの留学生を受け入れていて、町を歩くときよりも全く日本人として目立ちませんでした。留学生が常に居ることがその学校の常識なので生徒の皆は留学生さえ1人の生徒として見ていたと感じました。そのため初日は相手にされずとても不安になりましたが自分から話し掛けて行く内に皆が寄ってくるようになり最終的に沢山の友人を作ることが出来ました。公立高校は学費が無料のためスラム街から来ている生徒も数多く居ます。そしてやはり私立高校に黒人系の人種がほとんど居ないのに対し公立高校は半分の生徒がそうなのです。また喫煙者が多い、校内でチョコレート等のお菓子を自作で売る生徒が居る等私立高校とは全く違った風景を見ることが出来ました。授業内容も2校を比べると全く違い私立高校には英語とスペイン語の授業が有るのに対し公立はスペイン語の授業は無く英語の授業は2年生のみ、授業時間も私立は1日6時間有るのに対し公立は5時間ということです。これは大学を受験する際におおいに関わることだと思ひ、公立高校にしか通えない生徒も大勢居る訳で貧富の差と不平等の現実を目の当たりにすることが出来ました。

そして4月になり第3ホストファミリーに移りました。そこはベロリゾンチの中心街に近い、学校までも徒歩で20分のとても良い環境でした。家族構成は家の主人が68歳のおばあさん、そのおばあさんの娘と孫娘と一緒に暮らしているという珍しい構成でした。そして会話もスムーズに行えるようになったせいも有り、第3ホストファミリーやその親戚と楽しく過ごすことが出来ました。家のおばあさんともブラジルの有名な都市リオデジャネイロに旅行に行くことが出来ました。

そのおばあさんは私が遊びに行くとなると必ず場所を調べ危険だと判断すれば行かせてくれることは有りませんでした。公立高校の友人と関係を持っていたために反対されることが多く2人で衝突することも有りました。

また中心街まで徒歩で20分の距離だったので良く1人で歩き回っていました。出歩く度に道に迷っていましたがその度に周りに居る人に道を聞いていました。中心街は東京で言う原宿のような場所様々なものが有り、売っています。そして道端でお金をねだる人や明らかにスラム街に住んでい

る人等、此処でも貧富の差を目の当たりにすることが多々有りました。

そして最後の旅行は6月の最後、5日間ミナスジェライス州の隣のゴイアス州のカルダスノーヴァスというブラジルの温泉観光地に行ってきました。4年前日本の2570地区に留学していたビアンカさんとその家族に誘って頂き、そして全ての料金を払って頂きました。温泉と言っても見た目はプールそのもので皆水着を着て入ります。まさかブラジルで温泉に入れるとは思っていませんでした。そしてこの旅行はビアンカさんの家族のお陰でとても楽しい思い出にすることが出来ました。

4,伝えた日本文化と学んだブラジル文化（お気に入り）

折り紙はブラジル人の注目を集める手段としても役に立ちました。

教えてあげると意外なほど皆熱心に覚えていました。

そして日本料理は私にはくじゃが、カレー、煮豆等を作り、皆に喜んで貰えました。いなり寿司も作りましたがブラジル人は日本人は魚しか食べない=寿司しか食べないと思われる方も居たのであえて肉を使いました。日本の米も初めて食べる方が多かったのですが皆に好まれました。

私は学んだブラジル文化の中でもお気に入りやはり音楽、ダンスです。

それでも私が一番ブラジルで好きだと感じたものは人そのものです。全人種が交じり合い日本のように外国人に対する抵抗感が無く皆楽観的で親切なブラジルの人々は辛いことが多く有るだろうにも関わらず明るく笑顔で居る人が多く、とても魅力的に感じました。

5,留学して良かったことは

ブラジル人は日本を高評価するため（勉強、仕事、ブランド、）日本は特別な国だと感じると共に私自身が日本人だということに自信と誇りを持た、

だからこそ日本人として日本を詳しく知ろうと思いました。

そしてブラジルで沢山の大切な友人が出来たこと、それが一番です。

6,留学経験を生かしたい気持ち

先日上里町役場に行き、小学校か中学校に居るブラジルから来られた生徒さんに日本語を教えるボランティアが有るかどうかが今は受験なので難しいですが、是非話を聞きたいと尋ねたところ学校教育課の方とお話が出来、して貰えればとても助かるということでした。今は少子化のため生徒数は減っているものの外国人生徒は毎年増えていて上里で1番生徒数が多い上里東小学校では40人以上もの外国人生徒が勉強しています。そしてその半数以上がブラジルの子供たちでその内の15人程度は日本語が上手く話せない、そのために午前中は通訳の方が付いているようなのですが私からすれば1人では足りないだろうと正直思います。

9月から授業、受験勉強と忙しくなりますが私はそれとは別に早速学校にお邪魔し様子を見ると共に先生方ともお話をさせて頂こうと考えています。また日本の方にも私の留学経験を交えブラジルの文化を積極的に伝えていくつもりです。そして少しでも多くの方がブラジルに興味を持って貰えれば私としてこれ程嬉しいことはありません。

最後に会長を始めバカウンセラー、本庄ロータリークラブの皆さん、このような貴重な経験が出来たのは皆さんのお陰です。本当にありがとうございます。

そして、これからも宜しくお願い致します。

中村 茜

〔乾杯〕 渋谷修身 パスト会長



新入会おめでとう御座います。そして中村さん無事帰国併せておめでとう御座います。

〔卓話〕 坂本優蔵 会員



今井の工業団地にあるUSエンジニアリング(株)を営んでおります。神川出身です。創業者で、若いときからの事業の結果と妻の支えがあり今日があります。

現在は、孫もいる二人の息子もおおり、中国と日本でそれぞれの会社の後継者となって欲しいと願っております。

〔卓 話〕 横尾 巧 会員



新潟県新井市の豪農を祖とし、大正12年に縁あって本庄の地で商売を始めました。創業94年となり四代目の社長となります。民間の仕事が殆どであります建設業です。今年になり賃貸物件紹介の全国組織エイブルに加入をしたしました。

〔ニコニコBOX〕坂本雄一 委員長

飯塚明男会員

「横尾巧さん入会おめでとうございます。」

温井一英会員

「佐藤さん夫婦と茂木さんの奥さんと自分ら夫婦5人でナターリアを成田空港まで送って来ました。帰口の連絡が来たのでほっとしています。」

中村茜さん帰国報告よろしくお祈いします。

岡崎正六 矢島淳一 渋谷修身 澁澤健司
野村正行 梅村孝雄 岡芹正美 巴高 志
下山正男 竹並栄一郎 萩原達夫 飯塚明男

小林秀行商工会議所青年部会長お忙しい中ご苦労様です。

岡崎正六 矢島淳一 武井包光 坂本雄一
坂本優蔵 田中 克 中島高夫 狩野輝昭
橋本恒男 五十嵐敦子

本日投入金額合計 24,000 円

〔次回プログラム〕 澁澤健司 委員長

8月2日(木) 第一例会

- ① 交換留学生出発前挨拶 折原 愛美さん
- ② 卓話 坂本優蔵会員 横尾 巧会員

広聴広報委員会 小此木利明・山田喜一・金子 章

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
■事務所 埼玉グランドホテル本庄 700 号
〒367-0041 本庄市駅南 2-2-1
TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄
Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>